

【公演日程】

1 2025年6月8日(日) 15:00開演
シューマン・クアルテット
＜第7回大阪国際室内楽コンクール第2位＞



2 2025年10月25日(土) 15:00開演
ドーリック・クアルテット
＜第6回大阪国際室内楽コンクール第1位＞



3 2026年1月31日(土) 15:00開演
クアルテット・エクセルシオ
＜第2回大阪国際室内楽コンクール第2位＞



【チケット料金/全席指定】

公演	一般	友の会	学生(25歳以下)	セット券	セット券(友の会)
① シューマン・クアルテット	¥5,000	¥4,500	¥1,500	¥13,000	¥11,500
② ドーリック・クアルテット	¥5,000	¥4,500	¥1,500		
③ クアルテット・エクセルシオ	¥5,000	¥4,500	¥1,500		

※セット券、学生券はザ・フェニックスホールチケットセンターのみ取り扱い(学生券は25歳以下、要学生証提示)

発売日

11月29日(金) ザ・フェニックスホール友の会先行発売

12月6日(金) 一般発売

チケット取扱

ザ・フェニックスホールチケットセンター
06-6363-7999
あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー8F
(営業時間:10:00~17:00 休業日:土・日・祝日)

■チケットぴあ <https://t.pia.jp>
Pコード:①283-610 ②283-611 ③283-612

■イープラス <https://eplus.jp>

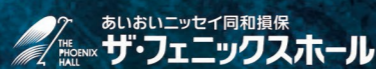
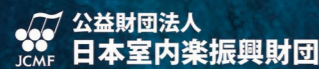
【会場】



あいおいニッセイ同和損保
ザ・フェニックスホール

530-0047 大阪市北区西天満4-15-10
あいおいニッセイ同和損保フェニックスタワー内
TEL: 06-6363-7999 <https://phoenixhall.jp/>

【主催】公益財団法人 日本室内楽振興財団 / あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール 【後援】読売テレビ / 読売新聞社



【問い合わせ】

公益財団法人 日本室内楽振興財団 <https://jcmf.or.jp/> TEL:06-6947-2184

※お車での来場はご遠慮ください。車いすのご来館や、目や耳の不自由なお客様など、係のお手伝いが必要なお客様は、事前にご連絡ください。
※未就学児童の入場はご遠慮いただいております。 ※都合により出演者、曲目などが変更になる場合があります。予めご了承ください

ザ・フェニックスホールに集う トップアンサンブル シリーズ 2025-2026



シューマン・クアルテット Schumann Quartet

2025
6.8
15:00開演



ドーリック・クアルテット Doric String Quartet

2025
10.25
15:00開演



クアルテット・エクセルシオ Quartet Excelsior

2026
1.31
15:00開演

弦
楽
四
重
奏
の
潮
流

TOP ENSEMBLE SERIES

トップアンサンブル シリーズ 2025 - 2026

ドイツ、オーストリアの古典派王道、ベートーヴェンの成熟と深淵

シューマン・クアルテット

<ドイツ/第7回大阪国際室内楽コンクール第2位>

2025年 **6.8** (日) 15:00開演

ハイドン:弦楽四重奏曲 ハ長調 op. 54-2

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第10番 変ホ長調 op. 74 「ハーブ」

ベートーヴェン:弦楽四重奏曲第15番 イ短調 op. 132

エリック・シューマン(ヴァイオリン)
Erik Schumann, violin

ケン・シューマン(ヴァイオリン)
Ken Schumann, violin

ファイト・ヘルテンシュタイン(ヴィオラ)
Veit Hertenstein, viola

マーク・シューマン(チェロ)
Mark Schumann, cello



SCHUMANN QUARTET

2007年ケルンで結成。国際的にソリストとしても知られるエリック・シューマンが第1ヴァイオリン兼リーダー、弟のケンが第2ヴァイオリン、マークがチェロを担当。ヴィオラはファイト・ヘルテンシュタインが担当している。ケルン国立音大にてアルバン・ベルク弦楽四重奏団に師事。2013年に最難関といわれるボルドー国際弦楽四重奏コンクールで優勝。以降、ウィーン楽友協会、ベルリン・フィル、ウィグモアホール、コンサートヘボウ等、世界中の名門ホールで公演を重ね大絶賛を集めて、国際的キャリアを急速に築いている。

2016年より3年間、NYのリンカーン・センター室内楽協会のレジデントに大抜擢された。2015/2016年はエステルハージ宮殿(奥)のレジデントを、また2009年よりデュッセルドルフのロベルト・シューマン・ホールでレジデントを務めている。2022/2023年のハイライトとしてシンガポールへのツアー、アムステルダムのコンサートヘボウで2回、ロンドンのウィグモアホールで3回演奏を行った。

リリースしたCDは、BBCミュージックマガジンアワード、ドイツ・レコード批評家賞、そしてドイツで最も権威のあるオーパス・クラシック賞を受賞している。

今シーズンのトップアンサンブルシリーズでは、ハイドンが確立した弦楽四重奏曲の、各国での展開と継承をお楽しみいただけます。ドイツ、イギリス、日本を代表する稀代のクアルテットが、独自のレパートリーで弦楽四重奏曲の魅力を引き出します。



ドーリック・クアルテット

<イギリス/第6回大阪国際室内楽コンクール第1位>

2025年 **10.25** (土) 15:00開演

J. S. バッハ:フーガの技法 BWV1080より4つのフーガ

ハイドン:弦楽四重奏曲 ヘ短調 op. 20-5

ブリテン:弦楽四重奏曲第3番 op. 94

マイア・カベザ(ヴァイオリン)
Maia Cabeza, violin

イン・シュー(ヴァイオリン)
Ying Xue, violin

エマ・ヴェルニグ(ヴィオラ)
Emma Wernig, viola

ジョン・マイヤースコウ(チェロ)
John Myerscough, cello

※当初発表していたアレックス・レディントン(ヴァイオリン)、エレネ・クレマン(ヴィオラ)から、メンバーが変更になっています。



DORIC STRING QUARTET

ドーリック・クアルテットは、昨年結成25周年を迎え、各メンバーはより一層深い解釈を求め続けている。古典派から現代音楽におよぶ幅広いレパートリーをその優雅さと親密な演奏により、世界中のファンを魅了し続けている。その知的な厳格さを持って、ハイドンからメンデルスゾーンまでのクラシックのレパートリーは特別に作られたオリジナルスタイルの弓で演奏し、ブレッド・ディーンなど現代音楽の初演も手掛ける。出演はコンサートヘボウ、ウィーン・コンツェルトハウス、エルプフィルハーモニーの欧州主要会場だけでなく、カーネギーホール(アメリカ)、サントリーホール(日本)、ムジカ・ヴィヴァ(オーストラリア)など世界中にわたる。また、アダムズの「弦楽四重奏とオーケストラのためのAbsolute Jest」を作曲家の指揮でオーストリア初演を担当した。

シャンドスからリリースされたCDは数多くの好評を集め、近年ではベートーヴェン没後250周年の2027年にむけて、ベートーヴェン全曲録音に着手した。

後進の指導にも熱心で、2015年から王立音楽アカデミー指導職にあり、さらに2018年からはメンデルスゾーン・オン・マル・フェスティバルの芸術監督を務めている。

クアルテット・エクセルシオ

<日本/第2回大阪国際室内楽コンクール第2位>

2026年 **1.31** (土) 15:00開演

ハイドン:弦楽四重奏曲 ニ長調 op. 76-5 「ラルゴ」

シュルホフ:弦楽四重奏のための5つの小品

幸松肇 編曲:弦楽四重奏のための日本民謡集 から「箱根八里」、「佐渡おけさ」

シュベルト:弦楽四重奏曲第14番 ニ短調 D810 「死と乙女」

西野 ゆか(ヴァイオリン)
Yuka Nishino, violin

吉田 有紀子(ヴィオラ)
Yukiko Yoshida, viola

北見 春菜(ヴァイオリン)
Haruna Kitami, violin

大友 肇(チェロ)
Hajime Otomo, cello



QUARTET EXCELSIOR

桐朋学園大学在学中に結成し、2024年結成30周年を迎えた。「繊細優美な金銀細工のよう」(独フランクフルター・アルゲマイネ紙)と2016年ドイツデビューで称賛された、日本では数少ない常設の弦楽四重奏団。3本の柱『定期公演』『現代曲』『アウトリーチ』を中心に様々なシリーズで室内楽の活動を展開。国際社会における日本の文化交流も積極的に行い、海外公演も重ねている。1996年に大阪国際室内楽コンクール第2位、2000年にパオロ・ボルチアーニ国際弦楽四重奏コンクール最高位、第19回新日鉄音楽賞「フレッシュアーティスト賞」、第16回ホテルオークラ音楽賞など受賞。2016年にサントリーホールでベートーヴェンの弦楽四重奏全16曲を日本人団体として初演奏。同年6月まで6年間『サントリーホール室内楽アカデミー』にてファカルティを務め、引き続き後進の指導にもあたっている。多数の録音を残している、日本人団体として初のベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲録音を完結させ、2024年12月にはモーツァルト「ハイドン・セット」全6曲の発売を予定している。J:COM浦安音楽ホールレジデンス・アーティスト、秋川キララホールミュージック・アンバサダー。